

意見交換会開催結果概要

- 1 開催日時 平成28年 2月24日（水）
- 2 時 間 開会 午後 7 時 ～ 閉会 午後 7 時58分
- 3 場 所 金沢美術工芸大学
- 4 参加人数 27名
- 5 出席議員 福田太郎議長、久保洋子副議長、
野本正人総務常任委員長、
喜多浩一総務常任副委員長、
上田雅大総務常任委員、松井 隆総務常任委員、
角野恵美子総務常任委員、森尾嘉昭総務常任委員、
安達 前総務常任委員、澤飯英樹総務常任委員、
黒沢和規議会運営委員長、
下沢広伸経済環境常任委員長、
中西利雄市民福祉常任委員長、
山本由起子建設企業常任委員長、
高岩勝人教育消防常任委員長
（オブザーバー議員）
小間井大祐議員、坂本泰広議員、中川俊一議員、
熊野盛夫議員、大桑初枝議員、広田美代議員、
長坂星児議員、前 誠一議員、高 誠議員、
清水邦彦議員、森 一敏議員、宮崎雅人議員、
玉野 道議員、松井純一議員、
- 6 次 第 別紙のとおり
- 7 結果概要 以下のとおり

喜多浩一総務常任副委員長の進行のもと、福田太郎議長の開会挨拶に引き続き、出席議員の紹介を行った。次に、松井隆総務常任委員から平成27年度金沢市議会12月定例会議会報告を行った。野本正人経済環境常任委員長に進行をかわり、角野恵美子総務常任委員から意見交換会のテーマ説明として「金沢美術工芸大学について」の説明を行った後、市民との意見交換を行った。喜多浩一総務常任副委員長の進行に戻り、久保洋子副議長の閉会挨拶で閉会した。

1. 開 会

【喜多浩一総務常任副委員長】

皆さん、こんばんは。お足元の悪い中、皆さんお集まりいただきましてありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまより金沢市議会意見交換会を開催いたします。

本日の司会進行を務めさせていただきます総務常任委員会副委員長の喜多浩一でございます。よろしくお願いいたします。（拍手）

2. 開会挨拶

【喜多浩一総務常任副委員長】

開会に当たりまして、金沢市議会、福田太郎議長から皆様方に御挨拶申し上げます。

【福田太郎議長】

皆さん、こんばんは。

ただいま御紹介いただきました金沢市議会議長の福田でございます。

きょうは大変寒い日になりまして、雪もちらついておりますが、大変お足元の悪い中、また難しいお時間に意見交換会へ来ていただきまして、まことにありがとうございます。

この意見交換会は、今年度の最後になる意見交換会でありまして、4カ所、4回行っております。きょうは金沢美術工芸大学がテーマということで、移転絡みとかいろいろそういうことになると思います。また、12月議会の報告会も兼ねてきょうは行わせていただきますので、よろしくお願いいたしますと思います。

それでは、どうも皆さんありがとうございます。よろしくお願いいたします。（拍手）

【喜多浩一総務常任副委員長】

ありがとうございました。

3. 出席者の紹介

【喜多浩一総務常任副委員長】

ここで、今回の意見交換会に出席している議員を紹介いたします。

まず、正副議長を紹介いたします。

先ほど御挨拶いたしました福田太郎議長でございます。

【福田太郎議長】

改めまして、こんばんは。(拍手)

【喜多浩一総務常任副委員長】

久保洋子副議長でございます。

【久保洋子副議長】

皆さん、こんばんは。(拍手)

【喜多浩一総務常任副委員長】

次に、今回の意見交換会を担当している総務常任委員会の委員を紹介いたします。

野本正人委員長でございます。

【野本正人総務常任委員長】

皆さん、こんばんは。きょうはよろしく申し上げます。(拍手)

【喜多浩一総務常任副委員長】

安達前委員でございます。

【安達前総務常任委員】

こんばんは。(拍手)

【喜多浩一総務常任副委員長】

森尾嘉昭委員でございます。

【森尾嘉昭総務常任委員】

ようこそ、こんばんは。(拍手)

【喜多浩一総務常任副委員長】

澤飯英樹委員でございます。

【澤飯英樹総務常任委員】

こんばんは。よろしく申し上げます。(拍手)

【喜多浩一総務常任副委員長】

角野恵美子委員でございます。

【角野恵美子総務常任委員】

こんばんは。よろしく申し上げます。(拍手)

【喜多浩一総務常任副委員長】

松井隆委員でございます。

【松井隆総務常任委員】

こんばんは。よろしく申し上げます。(拍手)

【喜多浩一総務常任副委員長】

上田雅大委員でございます。

【上田雅大総務常任委員】

こんばんは。よろしくお願ひします。(拍手)

【喜多浩一総務常任副委員長】

次に、金沢市議会には総務常任委員会を初め5つの常任委員会と議会運営をつかさどる委員会として議会運営委員会がありますが、各委員会の委員長も出席しておりますので、あわせて紹介させていただきます。

経済環境常任委員長であります下沢広伸議員でございます。

【下沢広伸経済環境常任委員長】

こんばんは。どうぞよろしくお願ひいたします。(拍手)

【喜多浩一総務常任副委員長】

市民福祉常任委員長であります中西利雄議員でございます。

【中西利雄市民福祉常任委員長】

こんばんは。(拍手)

【喜多浩一総務常任副委員長】

建設企業常任委員長であります山本由起子議員でございます。

【山本由起子建設企業常任委員長】

こんばんは。よろしくお願ひいたします。(拍手)

【喜多浩一総務常任副委員長】

教育消防常任委員長であります高岩勝人議員でございます。

【高岩勝人教育消防常任委員長】

こんばんは。(拍手)

【喜多浩一総務常任副委員長】

議会運営委員長であります黒沢和規議員でございます。

【黒沢和規議会運営委員長】

こんばんは。よろしくお願ひいたします。(拍手)

【喜多浩一総務常任副委員長】

また、今ほど御紹介しました総務常任委員会の委員及び各委員会の委員長以外の市議会議員については、オブザーバーとして参加しておりますことを御報告させていただきます。

次に、きょうの意見交換会について簡単に説明させていただきます。

まず、この意見交換の場は金沢市議会が主催するものであり、金沢市が行っている、あるいはこれから行う事業の説明をしたり解説をする場でないことを御承知ください。

きょう参加されている市民の代表として議会に出ている議員と皆様の意見交換を通じ、金沢市への要望や意見を届けようとするもので、昨年度から実施しているものであります。ただ、お時間が限られていますので、会ごとにテーマを設けさせていただき、意見交換を実施しています。今回は、皆様にお越しいただきました金沢美術工芸大学についてをテーマに、要望や意見をお聞き取りしたいと

考えております。

次に、本日の意見交換会の進め方について御説明させていただきます。

受付で配付いたしました資料のうち、意見交換会という表題の資料をごらんください。

こちらに次第を記しております。次第の4になりますが、この後、議会報告といたしまして、去年の12月定例会議会の概要を中心として議会の報告を10分程度させていただきます。その後、次第の5番になります。本日のテーマであります「金沢美術工芸大学」について20分程度御説明しました後、皆様方から御意見をいただきたいと考えております。

4. 議会からの報告

・平成27年度金沢市議会12月定例会議会報告

【喜多浩一総務常任副委員長】

それでは、報告に移らせていただきます。

平成27年度金沢市議会12月定例会議会につきまして御報告いたします。報告者は、総務常任委員会の松井隆委員でございます。よろしくお願いたします。

[松井隆総務常任委員が平成27年度金沢市議会12月定例会議会報告について別紙に基づき説明]

【喜多浩一総務常任副委員長】

ありがとうございました。

5. テーマに関する意見交換

・テーマ（金沢美術工芸大学）についての説明

【喜多浩一総務常任副委員長】

続きまして、本日の意見交換会のテーマであります「金沢美術工芸大学」についてに移ります。

ここからの進行は、野本委員長が行います。よろしくお願いたします。

【野本正人総務常任委員長】

本日、テーマに関する意見交換の進行を務めさせていただきます総務常任委員長の野本正人でございます。どうぞよろしくお願いたします。

冒頭でも御説明いたしましたが、この意見交換会は、きょう御参加の市民の代表である議員と皆様の意見交換を通じ、金沢市への要望や意見を届けることを目的に実施しております。

そこで、皆さんと意識や情報の共有を図ることを目的に、現在、議会として把握している情報をもとに説明資料を準備いたしました。資料は、大学の概要、大

学の現状として、公立大学法人化の概要、議会での質問、応答、今後の大学、今後予定されていることの4点でまとめております。

なお、お手元に配付した資料はスライドの資料と同じものであります。

見づらい場合はお手元の資料を見ながらお聞きください。

説明は、総務常任委員会の角野恵美子委員が行います。

[角野恵美子総務常任委員が意見交換会テーマについて別紙に基づき説明]

【野本正人総務常任委員会委員長】

ありがとうございました。

・市民との意見交換

【野本正人総務常任委員会委員長】

それでは、ただいまより意見交換を始めるに当たりまして、幾つかお願いしたいことがございます。

市民の皆さんの意見をいただき、執行部への政策提案を行うため、建設的な意見を求めます。

発言を希望される方は挙手をお願いいたします。私が指名しましたら係員がマイクをお持ちいたしますので、意見を述べる前に、恐縮ですがお住まいの町名とお名前を言ってから発言をお願いいたします。また、できるだけ多くの方の御意見を伺いたいのので、できるだけ端的にまとめて発言していただきますようお願い申し上げます。

今回は議会として開催している意見交換会ですので、議員の個人的な見解は述べないことといたしておりますことを御了承願います。議員個人の考え方や意見を聞きたい場合は、意見交換会終了後にそれぞれの議員に対して質問されるようお願いをいたします。

本日の意見交換会の内容は、後日、金沢市議会のホームページに掲載いたします。皆様方からいただきます御意見についても、お住まいの町名、お名前とともに掲載させていただきますので、あらかじめ御了承をお願いいたします。

最後に、記載しておりませんが、会場の都合もあり、進行ぐあいによって途中で意見交換の時間を打ち切らせていただく場合もありますので、まことに申しわけございませんがあらかじめ御了承いただきたいと思います。

それでは、意見等ございます方は挙手にてお願いいたします。

【参加者】

自由民主党崎浦支部の一員です。

移転に際しまして、学部の増設といいますか、そういうことを提案したいと思います。

これは崎浦の町連のほうで検討しておりましたが、山出市長の時代に提案した際に否決されたそうです。今でもまだ諦めてはおらんということで、自民党の崎浦支部でこれを提案して承認を得ました。それで私の知っている市会議員何名かに一応お声かけをしました。自民党の支部のほうへ提出する予定でしたが、昨年、選挙のため支部の会合が開かれず、今に至りました。

音楽部といいますか、そういう音楽に関する部を美術大学に創設していただきたいと思います。それは、辰巳丘の生徒が卒業後も続けようと思えば東京へ出ていくとか、また中学生のブラスバンドとかそういう人たちがそういう学部があればそれをまた伸ばしていくというようなことがあると思いますので、ぜひそういうことをやっていただきたいと思います。

また、福田議長にちょっとお話ししましたら、福田議長は、伝統芸能といいますかそういうほうもつくったらどうやというような話をしてくれましたので、小立野部会と合同でこれを提出する予定でした。ところがこの会合が早く来たもので、この会合で提案しております。

ということで、ふるさと創生という観点からも検討していただきたいと思います。よろしくお願いします。

【野本正人総務常任委員長】

ありがとうございます。貴重な御意見をいただきましたので、執行部のほうにも伝えさせていただきたいと思います。

【参加者】

先ほどの方がおっしゃいましたけれども、中期計画の中で定員をふやすことは話があったんですか。

私、地域社会におりますと、何といても人が集まってほしい。そして地域の発展につなげてほしい。学生が集まるとやっぱり地域が発展するわけですね。だからぜひともひとつ、今600人がおられるのなら1,000人ほどに持っていかれんかと。そういうことが考えられないかなということなんです。

一度ちょっとそんな話を言いましたら、お金がかかるとおっしゃっていましたが、文化というものはお金がかかります。それと、お金のかからない方策があるんじゃないか。例えば彫刻とか絵画とかデザインというのはなかなかお金がかかってくるものだろうと思うんですけれども、芸術科みたいなものの定員をふやす。つまり知識です。例えば芸術の中でルネッサンスをやるとか何とか。そういう勉強をしていただく。都会から女性の方をどんどん集めて定員をふやす。そういう方法もあるのではないかと思います。

それと、さっき、これもおっしゃられましたけれども、音楽的なもの、それも大変結構なことだと思うんです。美術工芸大学、工芸大学という縛りがばちっとかかっていますのでなかなか難しいと思うんですけれども、これも県との話があると思うんですが、例えば岩城記念音楽何とかというような名称の中でつくって

いけば、おもしろいなと思っております。

一番言いたいことは、定員増をひとつ検討してもらえないかということです。以上です。

【福田太郎議長】

知っている限りです。今のところ、学部をふやすとか定員をふやすとかはないです。ただ、過去の議会質問の中で言った人もいます。そのときは、否定的というよりも今は考えてないと。何しろこの建物がもう人が入れません。学部もつくれません。人もふやせません。だから新しい建てかえと同時にしてほしいなど。個人的な意見は述べられないんですが、そのときにタイミングだろうと。

私もたまたまこの地域におりますので、よくわかっているつもりです。昔は工学部もありましたし、学生さんがわいわいがやがや、ざわざわするほど人がいて若い人の町でしたが、今は工学部もありませんし、美大は日本で一番小さい美術大学です。やはり昔のにぎわいを取り戻したいなど。それはまちづくりの基本でありますから、今やっと市長のほうから美大を移転させようと計画が出ましたので、やっと動き出したというところで、地域の方にも、我々議員も精いっぱい頑張っ、まちづくりの一つとして、小立野だけではなくて、工学部跡地というのは市内の真ん中といいますか中心地にあります。山側幹線の中側にあります。これを利用して、今から金沢のまちづくりの一つのツールとして工学部の跡地の利用、そして美大の利用ということも考えていきたいし、皆さん今ありましたとおり、新しい学部、学生数をふやしたいと。同窓会の方ともこの間、私話したんですが、ふやしたいと言ったら、同窓会の幹部の方は、それはいらないと。少数精鋭でいいんだ、うちの大学はと。それもごもつともだが、今言った邦楽系とか音楽とか、ちょっとここに出ていましたけれども映像系。そういうものをできたら我々も執行部にそうやって今から言っていきたいなど思っていますので、ここまでしか言えませんが、よろしく願います。

【参加者】

議会がメインで来ていらっしゃるから、それも頭に入れてお話しするんですけども、市役所の中にクラフト関係の課がありますけれども、あるいはものづくりの絡みであるわけですけども、どっちかという伝統を引き継いでいることを主眼にしているわけですね。美大のほうでは、次々と新しいものを創作しているわけです。

もう一つ、世代が次々と上がっているものですから高齢の人が多くなるわけですけども、そういう人の中に、大学のいろんな知識を学ばせてもらいたいとか、あるいは工芸の分野に自分もまぎって一緒に何かしたいというようなことが、市なら市でそういう方法みたいなものを打つとか、あるいは美大のほうでそういう方法を打つとかいうことで、市民と大学の側で協調して新しい世代に合ったような展開ができないものかと常々思って、先ほどもちょっと話をしておったんです

けれども、そういったようなことが、もしこの校舎が広くなるとか、あるいは移転されるとかというような機会がありましたら、そういうのを重々踏まえて進んでいただけたらありがたいと思っております。

【野本正人総務常任委員長】

貴重な御意見をいただきました。これも執行部のほうに伝えてまいりたいと思います。

【参加者】

議会のことでちょっと聞きたくてお話ししたいんですけれども、よろしいですか。

1カ月ほど前に新聞報道でもありました。北陸新幹線の公害についてちょっと聞かせてもらいたいと思うんですけれども。

北陸新幹線の開業前の去年の市議会の意見交換会で、新幹線の騒音や振動や電波障害等に関して市議会の議長さんがお話を述べられていると思いますけれども、金沢市について、その後話し合いとか何かされましたかということが1点と、あと私たち沿線住民が防災無線が聞こえなくなってきたとか、騒音で眠れなくなっているという状態があります。それについて、議会でどのような把握とかされましたか。

あと、実際に国の環境基準を金沢市内で超えた地区というのはありますか。それに対して、また環境の進行とかそういったものはされる予定とかありますか。そういったのを済みませんけれどもよろしくお願いします。私たち沿線住民は、常に公害に悩まされています。済みませんけれども、お願いします。

【福田太郎議長】

今お話のあったことは理解しますが、私は一切報告を受けていません。ただ、何かの場で、新幹線が通ったことで騒音とかいろいろふぐあいが出ているというのは一回ありましたけれども、そのときの答弁は、ないと私たちは聞いています。もしあるのならば、それをきっちり市に言ったほうがいい。私ら、ないと聞いているんですよ。

【参加者】

経済環境常任委員会のほうでJRから聞いているという記事が載っていたんですけれども。

【福田太郎委員】

私ら資料も持ち合わせてないので、そういうことが現実にあるのか調べます。

【野本正人総務常任委員会委員長】

しっかり調査して調べてから、またお答えをさせていただきたいと思います。では、下沢委員長、報告があったことのみでお答えください。

【下沢広伸経済環境常任委員長】

今、この美大だけの話になっておりますので。委員会のほうでは、騒音に関し

ましての御報告があったということだけお伝えさせていただきたいと思います。

【参加者】

金沢を取り巻く環境を考えてみますと、2050年に47万都市から35万人になるという総務省の調査があるんですけども、そういうものに対して社会インフラをぼちぼち対応していかなければいけない時期なのかなというふうに思っているんですけども。今回、美大の話なので、私は、この人材育成が非常に大事だというふうに思っています。私たちのまちというのは資産もなければ設備も何もないまちですけども、人材という意味ではいろんな磨きをかければすごい人がいるのではないかとというふうに常々感じていますので、それに関して4つ提案をします。

1つは、金沢美大を含めた大学の教授陣の充実と少数精鋭主義の必要性であります。日本は「How to do」の世界から「What to do」、何をすればいいかという時代に来ておりますので、美大の学生さんたちが新しいものをどんどん生み出していただければ、それをまた助長するような教授陣が配置されればいいな、そういうふうに思っております。

次に、優秀な人材がここで生まれても、97%の人が東京とか都会、または世界に出ていくということなので、何とかそういう人たちも一緒に生活できるというか、そういう企業を誘致したらどうか。金沢市にそういう企業を誘致したらどうか。例えば電通や博報堂のような企業があったら、ここのデザイン科を卒業した人たちがそういうところに就職できるわけですから、金沢市としてもウィン・ウインの関係になるのではないかと。ですからグーグル級の企業を一つでも導入するように、市長さんはソフトバンクの会社員だったわけですから、ぜひそういう点を検討していただければと思います。

3番目は、この間びっくりしたんですけども、FIFAというサッカーのところでは本田選手が移籍すると星稜高校に幾らかの報奨金というか、そういうものが入ってくるという話を聞いて、これはいい制度だなというふうに思っています。東北の県知事さんとお話ししたときに、我々は育てるだけで、ほとんどフィードバックが返ってこない。東京が全部ブラックホールのように吸い上げてしまって、東京だけが黒字で、ほかの46道府県が全部赤字、こんなのはおかしいじゃないか。こういうふうなお話をお聞きしたことがあるんですけども、ぜひ日本の税制制度を変革しなければいけないと思うんですけども、そういうふうなここに巣立った人たちが自分の所得の中から幾ばくか金沢にフィードバックできる、またはほかの県でも同じだと思いますが、そういう制度を導入すれば、地方交付税交付金が上からおりてくるような話ではなくて、我々の努力に対してきちっとした報酬としていただけるような、堂々といただくという、そういう制度をぜひ御提案いただけないか。そういうふうに思います。

最後ですけども、今4,500億円の負債を抱えているわけなんですけども、市民当

たり約100万円の負債を抱えているわけですが、それをいつどのようにして返済していくのか。今のままでいくと、やはり地方交付税というかそういう形でしか頼ることができないので、金沢独自の幕藩体制のときに幕府何するものぞという、あの気概が失われているんじゃないかというふうに思いますので、4,500億円を返す期間と、それから方法について、ぜひ御検討いただければというふうに思います。

以上でございます。

【野本正人総務常任委員長】

大変貴重な御意見、本当にありがとうございました。今すぐお答えできるものはないので、これはまたホームページ等で掲載させていただきたいと思っておりますので御理解を願いたいと思っております。

ほかにご覧いませんか。よろしいでしょうか。

それでは質問も出尽くしたようでございますので、市民の皆さんとの意見交換は終了させていただきたいと思っております。どうもありがとうございました。

6. 閉 会

【喜多浩一総務常任副委員長】

それでは、閉会に当たりまして、金沢市議会、久保洋子副議長からお礼の御挨拶を申し上げます。よろしく申し上げます。

【久保洋子副議長】

皆様、本日はお寒い中、美大のほうにお集まりいただきまして、ありがとうございました。

今年度最後の意見交換会でありました。

本日のテーマは、金沢美術工芸大学のことでありましたがけれども、本当に貴重な御要望、御提言をいただきましたことを議員一人一人が真摯に受けとめまして、これからの議会活動に生かしていきたいと思っております。

今後とも皆様の御意見を参考にしながら議会の運営にも努めてまいりたいと存じます。

本日はまことにありがとうございました。(拍手)

【喜多浩一総務常任副委員長】

それでは最後になりましたけれども、受付の際お渡ししました封筒の中にアンケートが入っているかと思っております。ぜひともアンケートにお答えいただきまして、受付のほうにお渡しいただければと思っております。

本日は皆さん、足元の悪い中、本当にありがとうございました。これにて意見交換会を終了させていただきます。

本当に皆さん、ありがとうございました。(拍手)

以 上